

大山町長コメント

大山町の皆様へ

この度、大山町は「全国健康保険協会（協会けんぽ）鳥取支部」と健康増進事業を連携して実施するため、「大山町の健康づくりに関する包括連携協定」を締結しました。

本町は、高血圧、高血糖など生活習慣を要因とする循環器系等の疾患割合が高い傾向にあり、一人当たりの総医療費が県内でも高位にあるなど、生活の質の維持といった健康面や医療費の増大など保険制度の運営の面に対して大きな課題を抱えています。

本町の人口の29%が協会けんぽ加入者で、国民健康保険の加入者は30%です。これまではそれぞれが独自に事業を行っていましたが、今回の協定締結により双方合わせた約6割の町民の皆さまに対しより幅広く事業や広報活動が展開できるようになります。

協会けんぽとの具体的な連携内容は、特定健康診査やがん検診の受診促進、生活習慣病の予防対策、医療費や特定健診結果の分析などです。これらにより、国保、協会けんぽを合わせた町民の健診、医療データの分析によって得られる具体的な地域課題や、課題に即した疾病予防や健康づくり施策の展開によって、町民の健康寿命の延伸や、更には医療費の削減といった効果も期待できると考えます。

今年には新大山町が発足して10周年の記念すべき年であります。地域を元気にする様々な事業に取り組む中で、健康づくりも重要な施策の柱に据えながら、協会けんぽとの連携を施策展開の大きな契機と捉え、これを最大限に活かしながら本町の皆様が元気に生き生きと毎日を過ごすことができる町づくりに取り組んでまいります。



大山町長
森田 増範

